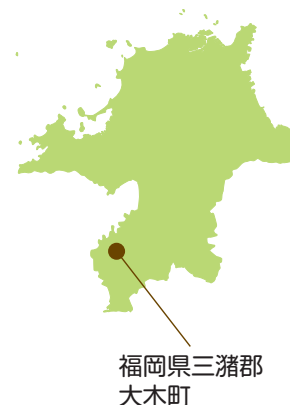


有限会社小林きのご産業

※2017年3月現在

代表者名	小林 良充	資本金	3百万円
設立年	1998年4月1日	売上高	125百万円(2015年3月期)
事業内容	生産(エノキ)、消費者直売、加工・製造	経営規模	田5ha、生産施設1700㎡、加工施設23.1㎡(菓子・惣菜製造)
従事者数	24人(うち女性16人。女性内訳:役員1人、管理職1人、一般職9人、常勤パート5人)		
女性活躍支援	<p>[女性に配慮した取組み、実績のある制度・支援]</p> <p>産前産後休業、育児休業、育児休業代替要員を確保、育児休業後の継続就業支援</p> <p>[女性に配慮して取組んだ環境整備]</p> <p>施設設備関係(休憩室・屋内トイレの設置)、重労働等の業務改善</p>		



経営概況

(有)小林きのご産業は福岡県三潁郡大木町に位置する会社である。創業は1972年で、創業時は米、麦、イグサ、イチゴを栽培しており、イチゴを中心とした経営をしていた。その後、大木町議長がエノキ栽培を推進したことをきっかけに、重労働が少なく女性にも取り組みやすいことに加えて、高収益が見込めたことから、生産品目をエノキへと転換した。

1989年に法人化後は経営規模を拡大し、現在

は生産施設1,700㎡、加工場23㎡である。加工品は乾燥エノキとエノキ茶を扱っており、2014年3月期の売上高は1億2,465万円となっている。

従業員数は、22名うち15名が女性で、内訳は管理職1名、一般職9名、常勤パート5名となっている。そのほかに、13年前より外国人技能実習生の受け入れを開始し、現在は女性4名を受け入れている。

1. 「三者満足」を目指す経営者の考え

法人化前に、ある女性従業員が「社会保険のある会社に勤めたい」と言って退職してしまった。代表の小林良充氏と妻の律子氏は今後もその女性に働いてほしいと思っていたため、その女性の退職に歯がゆい思いをし、「会社を設立して社会保険を整備する」との決意から1989年に有限会社を設立した。

小林きのご産業では、社会保険のほかに退職金制度、産前産後休業、育児休業といった制度が整備されており、制度が充実している。



このように、従業員が働きやすい会社を目指しており、それは会社の理念である「三者満足」にも表れている。

「三者満足」の三者とは顧客、経営者、社員のことであり、全員が満足できるような経営を目指して取り組んでいる。

加えて、もうひとつの会社理念として「安定経営を目指す」を掲げており、顧客の信頼を得るために生産管理に気を配っている。

また、地域に貢献するために「外部の役割は積極的に引き受ける」との考えから、小林良充氏は大木町財産管理委員長、律子氏はJA福岡大城女性部えのき茸女性部長、大木町男女共同参画委員、福岡県南筑後普及改良指導センター農村女性連絡研究会委員などを務めている。

2. 家庭との両立支援と キャリア形成の取組み

従業員が家庭と仕事を両立できるようにするため、就業時間の調整を行っている。ほかにも、子育て中はパート勤務だった従業員を子育てが一段落した後に正社員に登用するなど、従業員のライフステージと希望に応じてパートから正社員への登用を積極的に行っている。

また、能力・実績評価を行っており、評価内容を賞与に反映させることで従業員のモチベーション向上につなげている。

3. 女性従業員の活躍で売上げが増加

経営者は、エノキの選別や袋詰め作業は感性や器用さが活かされる仕事であり、女性に向けた仕事だと考えている。

売り先ごとに変わるエノキのサイズ等も、女性ならではの適格な指示によってミスなく円滑に作業が行われている。

このような体制が整っていることから、顧客のニーズに合わせた商品を提供することができ、2015年に比べ2016年度は約300万円の売上の増加につながっている。

4. 働きやすい職場づくりの工夫

男女各1名ずつを班長に任命しており、従業員の不満を把握して改善へとつなげている。

また、椅子に座っての作業を可能にするため、作業台の高さを調節することで従業員が作業しやすくなり、包装機械作業の効率アップにつながった。その他の環境整備としてはロッカーや男女別の和室の休憩室の整備が挙げられる。

また、会社内での親睦会を外国人技能実習生も含めて定期的実施しており、従業員とのコミュニケーションを積極的に図っている。

審査委員の声

創業から44年の間併走してきた代表者の妻が、陰に日向に、縁の下の力持ちとなって支えることで会社がまとまり、当社が目標としている「安定経営」が実現している。最近では、女性従業員がレシピ開発などに積極的に参加して、加工品生産にも取り組んでいる。

農家の嫁として家業を支え、母として子供を育て上げ、地域からも信頼され、すべてをこなしてきた代表者の妻の姿に、これまでの、たゆまぬひたむきな努力を垣間見る思いがした。